

事業名 貝野川ふるさとづくり 砂防事業他

うるおい水辺公園は地域住民の協力により親水護岸、水中遊歩道、池、植栽等公園の一体的整備を行い、“手づくり郷土公園”として、十日町市民の憩いの場として評価の高い事業

受賞機関 新潟県十日町土木事務所
十日町市
事業実施期間 平成3年4月1日～平成11年3月31日
事業費 314百万円

事業等の特徴

「ふるさとづくり砂防事業」として、親水護岸、水中遊歩道等が整備され、さらには「ふれあいの場づくり共同事業」として、地域住民と協力して修景施設工、園路工、植栽工等の整備が進められたものである。整備後は、地域住民によるイベント等多彩な催しものが行われ県内外から多数の人々が参加している。また、地域住民の憩いの場となっている。

事業の概要と利用者等の評価

貝野川は十日町市の北部に位置し6.5kmの流路を持ち信濃川に直接流入する自然豊かな河川であり、昔から遊びの空間として昆虫取りや水遊びが盛んだった。特に現在も数多くのホテルが生息し、その季節には大勢の人々が散策に訪れている。平成8年～平成10年に“ふるさとづくり砂防事業”により親水事業、水中遊歩道とともに7つの落差工を整備、「どんどん滝」と命名された。平成11年度は“ふれあいの場づくり共同事業”により、池、園路、駐車場を整備し「うるおいのある神明水辺公園」としてデビューした。

この事業は平成4年十日町市下条地区振興会から、同じ下条地区内にあるうるおいのある水辺事業推進部に、新潟県で行われている“ふるさとづくり砂防事業”を貝野川、神明地内を中心に取り込むことから始まった。計画は、地域住民の総意を結集し“うるおいのある水辺”を推進し、十日町北部公園として、美しい河川と周辺公園を整備することがこの計画の基本である。「うるおいのある神明水辺公



どんどん滝（落差工）



全景

園」は、県のふるさとづくり砂防事業による流路工整備とともに、池、園路、植栽等を含む公園の全体計画として立案され、市、県に事業の要請を行うとともに、用地の提供、草花の無償提供及び植栽等々、手づくり郷土公園にふさわしく地域住民の全面的な協力を図られた。

親水護岸及び公園が完成した平成12年、妻有地区（6市町村）において開催された「大地の芸術祭」にも参加し、芸術作品が現在2点展示されている。

また、「大地の芸術祭」が行われている期間中に、野外音楽会、魚のつかみ取り、ツツジ、ジャーマンアイリスの鑑賞等、地元市民によるイベントが開催され、県内外から多くの参加があった。

平成12年7月、地元の関係機関9団体（うるおいのある水辺公園推進部会、下条地区老人クラブ連合会等）では現地を実際に歩き、アンケート調査を行った結果は好評であった。

審査委員会委員の意見等

- ・県と市の連携による砂防事業と公園事業の一体化を目指した事例である。
- ・イベント開催などが行われているが、地域との連携や協働などの状況が必ずしも明確でないのが惜しまれる。